

2 取付編

HDI-PSシリーズ

B-MANU201113-01

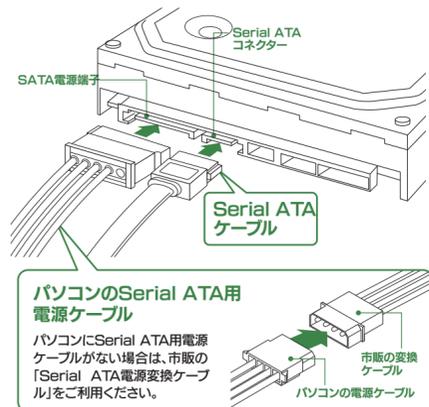
注意

本製品のセットアップ作業を説明しています。取付けは、Serial ATAコネクタに接続する方法と、SATA-PATA変換ボックスを使用して、Enhanced ATAコネクタに接続する、二通りの方法を説明しています。ご利用になる方法をご覧ください。

1

取り付ける (Serial ATA 接続の場合)

- 1 パソコンと周辺機器の電源を切り、パソコンの電源ケーブルをコンセントから抜きます。
- 2 パソコンのルーフカバー、3.5インチベイのカバーを外し、本製品を取り付けます。
パソコンのルーフカバーの外し方、3.5インチベイのカバーの外し方、取り付け方はパソコンの取扱説明書をご覧ください。
- 3 各ケーブルを接続します。
 - ①電源ケーブル
パソコンのルーフカバーの外し方、3.5インチベイのカバーの外し方、取り付け方はパソコンの取扱説明書をご覧ください。
 - ②Serial ATAケーブル
Serial ATAケーブルでパソコンまたはSerial ATAインターフェイスボードのSerial ATAコネクタと本製品のコネクタに接続します。
- 4 添付の本体装着用ネジで本製品を固定します。
お使いの機種によって、ネジ穴の場所や数が異なります。詳しくは、パソコンの取扱説明書をご覧ください。
- 5 パソコンのルーフカバーを取り付け、ケーブルや周辺装置を元に戻します。



注意

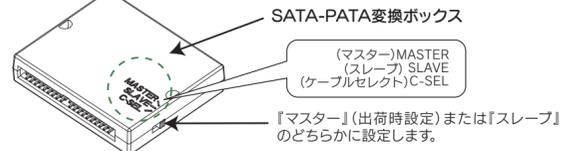
- 機種によってイラストは多少異なります。詳しくはパソコン本体取扱説明書をご覧ください。
- 本製品は動作時、非常に高温になります。風通しの悪いファイルベイ位置や周囲が高温となるような位置は、さけて取り付けてください。
- ケーブルを差し込むときは、ケーブルの向きにご注意ください。逆向きだと差し込めなくなりますが、無理に差し込もうとすると、コネクタを破損する恐れがあります。
- 動作中にケーブルを抜かないでください。また、抜けないようご注意ください。

1

取り付ける (Enhanced ATA 接続の場合)

1 スイッチを設定する

本製品を取り付ける前に本製品のスイッチを設定する必要があります。下記「IDEの基礎知識」をご覧ください。SATA-PATA変換ボックスのスイッチを「マスター」(出荷時設定)または「スレーブ」のどちらかに設定します。(お使いの機種によっては、本製品をケーブルセレクトに設定するように指定している場合があります。)



本製品を取り付ける場所を決めてから、下記の通り設定してください。

●本製品はIDE機器としてパソコン本体に接続します。
パソコンに接続できるIDE機器は最大4台まで

■パソコン本体には、以下の2つのコネクタがあります。
『プライマリー』(PRIMARY) → IDE1の場合があります。
『セカンダリー』(SECONDARY) → IDE2の場合があります。
■プライマリー/『セカンダリー』のそれぞれに、IDEフラットケーブル(次ページ参照)を使用して、右記の2台ずつ、計4台までのIDE機器を接続することができます。

●接続例
一般的なパソコンでの接続例です。空いているコネクタに接続するか、すでにお使いのCD-ROMドライブなどと交換してください。

『セカンダリー』に...
●2台接続する場合
ケーブルの端の方を『マスター』ケーブルの中間の方を『スレーブ』
●本製品のみ接続する場合
『マスター』

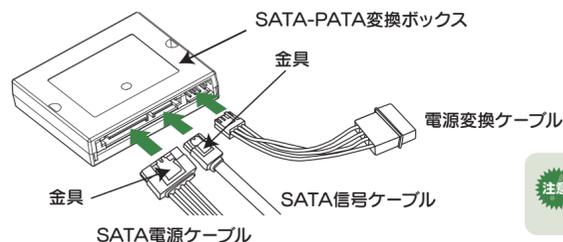
『セカンダリー』コネクタ
『プライマリー』コネクタ
IDEフラットケーブル

パソコン本体の標準のハードディスク:『マスター』
『プライマリー』に接続する場合は、『スレーブ』

IDEの基礎知識

2 SATA-PATA変換ボックスにケーブルを接続する

SATA-PATA変換ボックスに、添付のSATA電源ケーブル、SATA信号ケーブル、電源変換ケーブルを接続します。

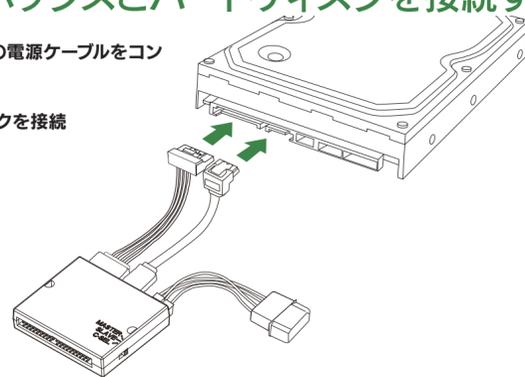


注意

各ケーブルを取り外す際は、金具を押さえて抜いてください。

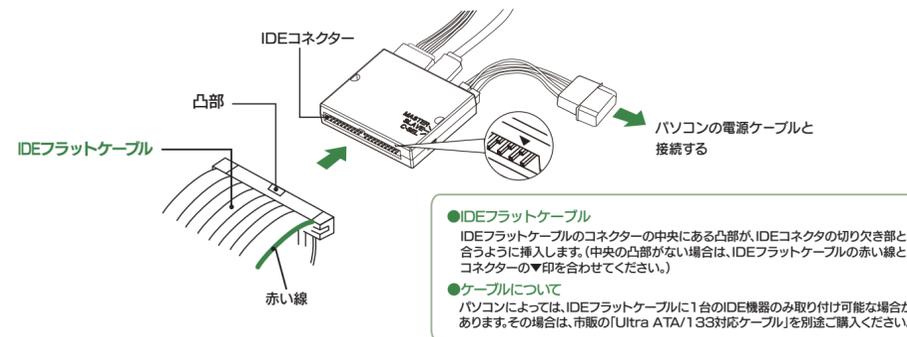
3 SATA-PATA変換ボックスとハードディスクを接続する

- 1 パソコンと周辺機器の電源を切り、パソコンの電源ケーブルをコンセントから抜きます。
- 2 SATA-PATA変換ボックスとハードディスクを接続します。



- 3 パソコンのルーフカバー、3.5インチベイのカバーを外し、本製品を取り付けます。
パソコンのルーフカバーの外し方、3.5インチベイのカバーの外し方、取り付け方はパソコンの取扱説明書をご覧ください。

- 4 各ケーブルを接続します。
 - ①電源ケーブル
パソコン本体から出ている電源ケーブルを本製品の電源コネクタに接続します。
 - ②IDEフラットケーブル
パソコン本体から出ているIDEフラットケーブルを、本製品のIDEコネクタに接続します。プライマリー(1系列目)またはセカンダリー(2系列目)を充分確認し、接続してください。



注意

- 機種によってイラストは多少異なります。詳しくはパソコン本体取扱説明書をご覧ください。
- 本製品は動作時、非常に高温になります。風通しの悪いファイルベイ位置や周囲が高温となるような位置は、さけて取り付けてください。
- 本製品をパソコンの5インチベイでご利用になる場合は、別途、別売品の「5インチベイ(ファイルベイ)用金具」が必要です。詳細については、別紙【①はじめにお読みください】の【別売オプション品について】の箇所を参照してください。

- 5 添付の本体装着用ネジで本製品を固定します。
お使いの機種によって、ネジ穴の場所や数が異なります。詳しくは、パソコンの取扱説明書をご覧ください。
- 6 パソコンのルーフカバーを取り付け、ケーブルや周辺装置を元に戻します。

2 使えるようにする

本製品を使うようにしましょう。本製品は以下のような使い方があります。

現在使用中の環境(起動用ドライブ)のOS環境を本製品に移行して、本製品を起動ドライブとして使用する時

「HD革命/CopyDrive」を使って、現在使用中の環境を本製品に環境移行します。
※Windowsのみ(Windows Server 2003は除く)

- 1 「HD革命/CopyDrive」、「HD革命/Partition Lite」をインストールします。
(【サポートソフトを使う】を参照)
- 2 現在使用中のハードディスク(起動用)はそのままだとして、本製品をスレーブ接続します。
SATA-PATA変換ボックスを使用する場合は、ディップスイッチを「SLAVE」に設定します。
- 3 現在の環境を、本製品に移行します。
(裏面【CopyDriveを使って環境移行する】参照)
- 4 現在の使用中のハードディスク(起動用)を取り外し、本製品を接続します。
SATA-PATA変換ボックスを使用する場合は、ディップスイッチを「MASTER」に設定します。
- 5 パソコンを起動し、パーティションサイズの変更を行います。
(別紙「補足フォーマット編」の【パーティションを作り直す場合】参照)

本製品にOSをインストールして、起動用ハードディスクとして使用する時

本製品にOSをインストールします。

- 1 現在の使用中のハードディスク(起動用)を取り外し、本製品を接続します。
SATA-PATA変換ボックスを使用する場合は、SATA-PATA変換ボックスのディップスイッチを使用中のハードディスクの設定に合わせます。(「MASTER」または「ケーブルセレクト」)
- 2 パソコンを起動し、OSのインストールまたはリカバリーを行います。

注意

●OSのインストール方法、および本製品からの起動方法は、お使いの環境によって異なります。そのため弊社では、OSのインストール方法、および本製品からの起動方法についてのサポートはいたしていません。

本製品を起動ドライブとしてではなく、データ保存用として使用する時

本製品をフォーマットします。

- 1 本製品を接続します。(【1 取り付ける】を参照)
SATA-PATA変換ボックスを使用する場合は、接続する位置を確認して、SATA-PATA変換ボックスのディップスイッチを設定します。
- 2 パソコンを起動し、本製品をフォーマットします。

注意

●フォーマットは一度行えば使用できるようになります。一度使用した本製品を再度フォーマットすると、本製品内のデータはすべて消えてしまいます。必要なデータがある場合は、そのデータをバックアップしてからフォーマットしてください。フォーマット方法は、別紙【補足フォーマット編】をご覧ください。

サポートソフトを使う (Windowsのみ)

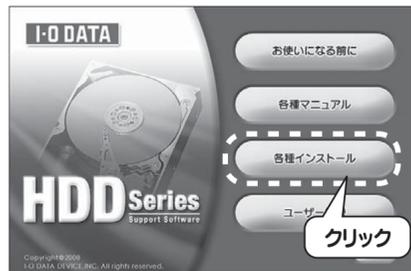
1 用途に応じて添付ソフトウェアを選択してください。

環境移行をしたい 「HD革命/CopyDrive」	ハードディスクのパーティションを変更したい 「HD革命/Partition Lite」	フォルダやファイルをバックアップをしたい 「EasySaver LE」	データを完全に消去したい 「DiskRefresher LE」
環境移行&バックアップソフト ハードディスクの内容を丸ごとコピーすることで、ご使用の環境を移行することができるソフトウェアです。	パーティション管理ソフト ウィンドウズ上からパーティションの分割、結合、サイズの変更等を可能にするソフトウェアです。	オートバックアップソフト 手軽にファイルやフォルダのバックアップを行うソフトウェアです。	完全データ消去ソフト 本製品のデータを完全に消去するソフトウェアです。 ●本ソフトは、データを完全に消去するためのものです。 誤って重要なデータを削除した場合は、データを復旧できませんので、くれぐれもご注意ください。 ●起動用フロッピーの作成が必要です。別途、フロッピードライブと空のフロッピーが必要です。 ●本ソフトは、製品版DiskRefresherの機能限定版です。

2 用途に応じて必要なソフトウェアをインストールしてください。

コンピュータの管理者 (Administrators) でログオンしてください。

- サポートCD-ROMをCD-ROMドライブに入れます。→右のメニューが表示されます。
- [各種インストール]をクリックします。
- インストールしたいソフトウェアをクリックします。
- 画面の表示にしたがってインストールをすすめます。
- インストールが完了したらサポートソフトCD-ROMを取り出します。



※メニューが表示されない場合は、CD-ROMの「MENU」アイコンをダブルクリックしてください。

インストール時のシリアル番号

- HD革命/CopyDrive
- HD革命/Partition Lite

※「HD革命」についてのお問い合わせは、裏面の【「HD革命」に関するお問い合わせ】をご覧ください。
 ※「HD革命/BackUp」を使っている環境移行には、起動可能なCD/DVDドライブとバックアップする容量分のメディアが別途必要です。
 お使いのパソコンが、CD/DVDドライブからの起動に対応しているかどうかは、弊社では案内しておりません。
 パソコンメーカーにお問い合わせください。

3 「画面で見るマニュアル」も参考にしてください。

画面で見るマニュアルにもソフトウェアのインストール方法、使い方を説明しています。参考にしてください。以下に、画面で見るマニュアルの見方について説明します。

- サポートCD-ROMをCD-ROMドライブに入れます。→上記のメニューが表示されます。
- [各種マニュアル]をクリックし、[画面で見るマニュアル]をクリックします。

CopyDriveを使って環境移行する (Windows Server 2003は除く)

●本作業手順は作業例です

必ず「HD革命/CopyDrive」のオンラインマニュアルをご覧ください。作業を行ってください。「HD革命/CopyDrive」のその他の機能についてもオンラインマニュアルをご覧ください。

- 起動ドライブと本製品以外のハードディスクは取り外しておくことをおすすすめします。**
誤ってコピーしてしまうとデータが消えてしまいます。できる限り、起動ドライブと本製品以外のハードディスクは取り外してください。
- ダイナミックディスクを環境移行する場合**
本手順では、ダイナミックディスクを環境移行することはできません。

●画面で見るマニュアルの参照方法

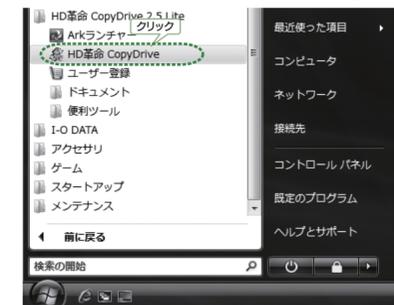
本製品のサポートソフトCD-ROMを挿入することで表示されるメニューから画面で見るマニュアルを参照できます。

●「HD革命/CopyDrive」についてのお問い合わせ

別紙①ははじめにお読みください。裏面の【「HD革命/CopyDrive」HD革命/Partition Liteに関するお問い合わせ】をご覧ください。

Windows Vista®での例

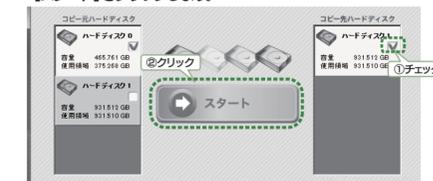
- パソコンの電源を入れ、Windowsを起動します。
- [スタート]メニューから「HD革命/CopyDrive」を起動します。
[スタート]→[(すべての)プログラム]→[HD革命 CopyDrive xxxx]→[HD革命 CopyDrive]を順にクリックします。



- しばらくすると下記の画面が表示されます。コピー元のハードディスクをチェックします。



- コピー先ドライブ(本製品)をチェック後、[スタート]をクリックします。



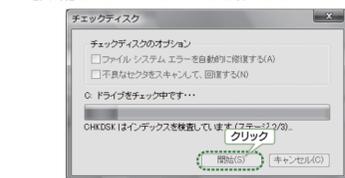
- 以下の画面が表示された場合は、[はい]、[OK]をクリックします。



- コピー元とコピー先を確認後、[次へ]をクリックします。

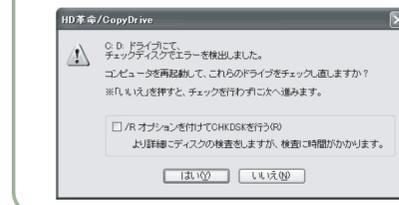


- コピー元ハードディスクのチェック画面が表示されます。[開始]をクリックし、チェックを行います。

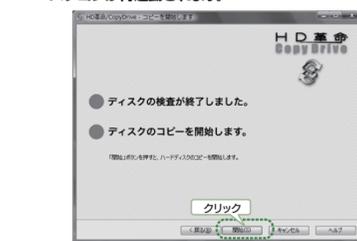


●チェック時にエラーが表示された場合

コピー元のハードディスクのチェック中に、以下のようなエラーを検出する画面が表示される場合があります。これは、コピー元のハードディスク内にエラーとなる箇所があるためです。画面の指示に従って対処してください。



- コピー開始の画面が表示されます。内容を確認後、[コピー開始]をクリックします。→パソコンが再起動されます。



パソコンが再起動されます

- パソコン再起動後、コピー画面が表示され、コピーを開始します。
- コピー終了後、自動的にパソコンの電源が切れます。

以上で、起動用ハードディスクの環境を本製品に移行しました。

本製品を起動用にする

- パソコンとすべての周辺機器の電源を切ります。
- パソコンに接続されているすべてのケーブルを取り外します。
- 起動用ハードディスクを取り外し、本製品を接続します。
- パソコンの電源を入れ、Windowsを起動します。
- 以前と同様の状態でWindowsが起動できれば作業は成功です。
- パソコンにカバーを付け、取り外したケーブルを元に戻します。以上でハードディスクの環境移行作業はすべて終了です。

ただしこの状態では移行前のハードディスクと同じパーティション状態ですので空き容量が残っている場合があります。別紙「補足 フォーマット編」の【パーティションを作り直す場合】を参照していただき、パーティションサイズの変更を行ってください。

●取り外した起動用ハードディスクの使い方

同じ内容が書き込まれたハードディスクを2台同時に取り付けてOSを起動しますと、OSの動作が不安定になるなどの不具合が発生する恐れがあります。そのため、環境移行後のOS起動は本ハードディスクのみを取り付けて行ってください。取り外されたハードディスクは環境移行のバックアップドライブとして大切に保存されることを強くお勧めします。

なお、複数台のハードディスクを取り付けた状態でOSが起動しない場合は、本製品の接続コネクタを変更するか、パソコン本体の起動優先の設定で本製品の優先順位を上位にしたい必要がある場合があります。起動優先の設定につきましては、パソコン本体側の設定となります。パソコンメーカーにお問い合わせください。



画面で見るマニュアルについて

本製品の、その他の基本操作、Q&Aなどについては、添付の「サポートソフトCD-ROM」内にある画面で見るマニュアルもご覧ください。
 ※画面で見るマニュアル以外でも弊社ホームページ (http://www.i-o-data.jp/support/)にてQ&Aを用意しております。本製品が正常に動作しない場合はこちらをご覧ください。

画面で見るマニュアル起動方法

●Windowsの場合

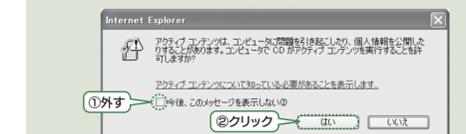
- サポートソフトCD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。
- [各種マニュアル]ボタンをクリックします。
- ご覧になりたい画面で見るマニュアルのボタンをクリックします。

●Mac OSの場合

- サポートソフトCD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。
- manual.htmをダブルクリックします。
- 画面で見るマニュアルが表示されます。

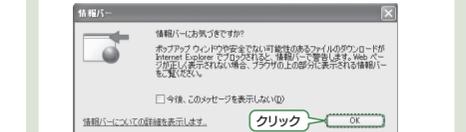
注意 画面で見るマニュアルを見る際のご注意

Windows Vista®/XP (SP2) がインストールされた環境では、下のメッセージが表示される場合があります。[今後、このメッセージを表示しない]のチェックを外し、[はい]ボタンをクリックします。
 →画面で見るマニュアルが表示されます。



【いいえ】ボタンをクリックした場合

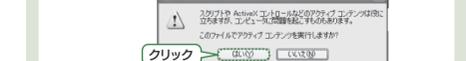
- 下の画面が表示されます。[OK]ボタンをクリックしてください。→画面で見るマニュアルが表示されます。



- この場合、一部の機能が正しく動きません。情報バーをクリックし、表示された[ブロックされているコンテンツを許可]をクリックしてください。→画面で見るマニュアルが正しく動きます。



- 下の画面が表示された場合は、[はい]ボタンをクリックします。



困ったときには

本製品を使ってトラブルがあったときにご覧ください。(画面で見るマニュアルの困ったときには)もあわせてご覧ください。

●パソコンが起動途中で止まってしま

原因 本製品が他の機器が正しく接続されていないパソコンおよびすべての周辺機器の電源を切り、本製品を含むすべての周辺機器の接続(ケーブルなど)を確認してください。

●本製品のアイコンが表示されない

原因1 更新されていない
 [マイコンピュータ]の[表示]→[最新の情報に更新]をクリックしてください。

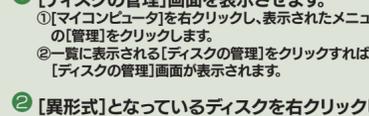
原因2 正しく領域確保・フォーマットされていない
 別紙「補足 フォーマット編」の手順をご覧ください。

原因3 ダイナミックディスクにした本製品を他のパソコン/OSに接続した
 ダイナミックディスクのハードディスクは他のパソコン/OSでは正しく認識されません。以下の【ダイナミックディスクの認識方法】の手順を行ってください。

ダイナミックディスクの認識方法

以下の手順は本製品をダイナミックディスクでお使いの場合に、本製品のアイコンが表示されない場合の解決方法です。

- [ディスクの管理]画面を表示させます。
 ①[マイコンピュータ]を右クリックし、表示されたメニュー内の[管理]をクリックします。
 ②一覧に表示される[ディスクの管理]をクリックすれば、[ディスクの管理]画面が表示されます。



- [異形式]となっているディスクを右クリックし、表示された[形式の異なるディスクのインポート]をクリックします。



- [OK]をクリックします。



- [OK]をクリックします。
 →ダイナミックディスクの認識が始まります。



- 正常に認識されると画面に[正常]と表示されます。



- [マイコンピュータ]を開いて、本製品のアイコンが表示されていることをご確認ください。



ベーシックディスクでお使いになることをおすすめします。

データを他のハードディスクなどにバックアップした後、[パーティションを作り直す場合]を参照してベーシックディスクにフォーマット直すことをおすすめします。